

出羽商工会景況調査報告

[調査要領]

調査対象 : 出羽商工会地域の企業 100 社 (製造業 24、建設業 24、小売業 26、サービス業 26)
 調査時点 : R6 年 12 月 (3 期)・R7 年 3 月 (4 期) ※1 期 (4-6 月) 2 期 (7-9 月)、3 期 (10-12 月)、4 期 (1-3 月)
 調査方法 : 企業へ調査表記入依頼及びヒアリング

※D. I とは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で以下により算出しており、将来の景気 directional 性を値で表している。

D. I. = 【各項目の増加 (上昇・好転) 企業割合 (%)】 - 【各項目の減少 (低下・悪化) 企業割合 (%)】

【全体】

- 第 3 期は、第 2 期と比較すると業種間でのばらつきが見て取れる。
- ガソリン価格の高騰、物価高や、中小企業の先行きへの警戒感は続いている。

【製造業】

- 第 3 期は、業況が好転したと答えた事業所はなく、原材料価格の上昇が続いており経営環境の厳しさがうかがえる結果となった。
- 第 4 期は、一部食品製造業において好転がみられたものの景況感は厳しい状況にあった。

【建設業】

- 第 3 期は、豪雨災害の復旧工事による受注の増加がみられる一方で、住宅建設は大きな変動はない動きとなっている。
- 第 4 期は、年末年始にかけ一気に積雪があり除雪関係の仕事が忙しくなったが、その後は降雪も落ち着いたため、昨年同期と比較しても厳しい状況と言える。

【小売業】

- 第 3 期は過去 3 年間で DI 値が最も高く、年末需要拡大に合わせた事業所が好転した結果となった。
- 第 4 期は、過去 3 年の比較では -78.9P と最も悪化しており、冬場の天候不順で価格が高騰する商品も出たことが消費に影響する結果となった。

【サービス業】

- 第 3 期は、第 2 期より DI 値が減少したが、理美容に関しては大きく業況が変わらず、秋の観光シーズンに思ったほどの集客がない状況となった。
- 第 4 期は、天候不順により、消費者の外出や購買に影響を与えた結果となった。

1 2 月調査 (第 3 期調査)						3 月調査 (第 4 期調査)					
前期 (7 月-9 月) と比べて今期 (10 月-12 月) の業況は						前期 (10 月-12 月) と比べて今期 (1 月-3 月) の業況は					
区分	製造業	建設業	小売業	サービス	全体	区分	製造業	建設業	小売業	サービス	全体
好転 A	0.0	4.5	5.9	9.1	8.2	好転 A	9.1	0.0	0.0	4.2	3.4
不変 B	55.0	77.3	88.2	77.3	68.2	不変 B	40.9	63.6	21.1	75.0	50.6
悪化 C	45.0	18.2	5.9	13.6	23.5	悪化 C	50.0	36.4	78.9	20.8	46.1
DI (A-C)	-45.0	-13.7	0.0	-4.5	-15.3	DI (A-C)	-40.9	-36.4	-78.9	-16.6	-42.7

景況判断「D I」全業種及び業種ごとの推移

